

各位

会社名：株式会社アルチザネットワークス  
 代表者名：代表取締役社長 床次 隆志  
 (コード番号：6778 東証マザーズ)  
 問い合わせ先：取締役管理本部長 高橋 玄太  
 (連絡先：042-529-3494)

### 業績予想の修正に関するお知らせ

直近の業績動向等を踏まえ、平成14年9月11日に公表致しました平成15年7月期業績予想を下記の通り修正致しましたので、お知らせ致します。

#### 記

#### 1. 通期業績予想の修正

平成15年7月期 通期業績予想の修正 (平成14年8月1日~平成15年7月31日) (単位:百万円、%)

	売上高	経常利益	当期純利益
前回発表予想(A) (平成14年9月11日発表)	2,480	230	133
今回修正予想(B)	1,830	50	28
増減額(B-A)	650	180	105
増減率	26.2	78.3	78.9
前期(平成14年7月期)実績	2,222	594	340

平成15年7月期 事業別売上高通期予想の修正 (平成14年8月1日~平成15年7月31日)

(単位:百万円、%)

	プロトコルテストソリューション事業			ネットワーク・ マネジメント・ ソリューション事業
	ATMシグナリング	TDMシグナリング	IPテスト	
前回発表予想(A)	1,302	570	369	237
今回修正予想(B)	1,045	460	155	170
増減額(B-A)	257	110	214	67
増減率	19.7	19.3	58.0	28.3
前期(平成14年7月期)実績	1,658	273	133	157

#### 2. 業績予想修正の理由

国内外における通信業界の研究開発及び設備投資に関わる事業環境が厳し、状況が継続しており、現時点における各事業セグメント別の売上動向につきましては、以下のように考えております。

##### 【プロトコル・テストソリューション事業】

##### ATMシグナリング

(国内) 株式会社NTTドコモの「POMA」プロジェクトへの対応が中心となるため、安定的な推移が予想され、売上予算900百万円に変更はございません。

(海外) 欧州の通信機器メーカーでは、次世代通信サービスに向けた研究開発を継続している模様であるものの、本格的なサービス開始が遅延しているうえ、業績不振の影響から投資余力に乏しく、状況が継続しております。そのため、当社が当初に想定していたスケジュールでの当社製品導入に関しましては、実現可能性が低く、売上予算を145百万円に修正することとしました。以上の状況変化を織り込み、国内外を合算した通期売上高は、1,045百万円を見込むことと致しました。

##### TDMシグナリング

インターネット電話サービス市場は、堅調な成長が継続しておりますが、低価格のサービスを前提としており、通信機器の価格も低下傾向にあります。テストシステムの需要が拡大しつつも、競争状況も激化しており、その影響から当初に想定していた売上の実現可能性が低く、売上予算を460百万円に修正することとしました。

##### IPテスト

下期に販売開始を予定していたハイエンド向け新製品は、開発プロジェクトに遅延が発生し、当初に想定していたスケジュールでの当社製品導入に関しましては、実現可能性が低く、売上計画を減額せざるを得ない状況となりました。以上の状況を織り込み、当セグメントの売上高予算を155百万円と修正いたしました。

##### 【ネットワーク・マネジメント・ソリューション事業】

下期に販売開始を予定していたエンタープライズ向け新製品においても、開発プロジェクトに遅延が発生し、当初に想定していたスケジュールでの当社製品導入に関しましては、実現可能性が低く、売上計画を減額せざるを得ない状況となりました。以上の状況を織り込み、当セグメントの売上高予算を170百万円と修正いたしました。

上述の事業セグメント毎の進捗状況及び直近の事業環境を前提に業績予想を行った結果、全社売上高は計画未達となる可能性が高く、採算性も悪化する可能性が高いため、前回公表の業績予想【売上高2,480百万円、経常利益230百万円、当期純利益133百万円 平成14年9月11日公表】を下回る見通しとなり、当期業績予想の修正を行うことと致しました。

修正後の平成15年7月期業績は、前期比で売上減少が避けられず、売上高は1,830百万円(前期比17.7%減)に留まり、経費節減に努めるものの、経常利益は50百万円(前期比91.6%減)、当期純利益28百万円(前期比91.8%減)と減益を予想しております。

(注) 本業績予想は、現在入手可能な情報から、当社の経営者の判断に基づき作成しております。従いまして、本業績予想のみに全面的に依拠して投資判断を下すことは控えられるようお願い致します。また、実際の業績は様々な要因により本業績予想とは、異なる結果となり得ることをご承知おきください。

以上